



やまざとの風

～心を込めた「あいさつ」「校歌」輝く「笑顔」～

山里中学校だより

2023. 4. 12号

文責 小西



「令和5年度 入学式」

4月10日(月)、山里中学校「入学式」を挙行了しました。新入生は「160名」。真新しい制服に身を包み、緊張しながらも中学生になったという喜びを胸に、160名の生徒が入学してきました。これで令和5年度は、1年生「160名」5学級、2年生「189名」5学級、3年生「216名」6学級、特別支援学級4学級、院内学級1学級、計「565名」21学級でスタートです。

本田勇人校長先生は「式辞」の中で次のことを述べられました。

～ 入学式 式辞 ～

校庭の木々の緑が柔らかな色合いを見せてくれる春が来ました。希望を胸に本日から中学校生活を踏み出す160名の新1年生のみなさん。入学おめでとうございます。

本日は、数年ぶりに、この式場で新1年生の皆さんと顔を合わせて一緒にお祝いすることができました。皆さんの入場の際に、3年生、2年生の先輩たちが、力強く、そして、心をこめた盛大な歌声で迎えてくれました。3年生、2年生の先輩たちは、皆さんと一緒に過ごす山里中学校での生活を心から楽しみにしているのです。

さて、本校は、「平和は山里から 日常の平和から」を合言葉として、毎日生活しています。山里中学校は、原爆落下中心地に最も近くにある中学校です。そこに生まれ、生活するものの責任として、常に平和を求め、新たな「平和への学び」を積み重ね、これからの平和をつくっていくことが求められていると考えています。

また、本校では「日常の平和」を実感できる学校生活をみんなで作っていくために、「人として大切にしなければならないこと」、信じてあげること、待ってあげること、許してあげることなどを大事しながら生活しています。今年は、そのことに加え、コロナの後の、新しい時代にみんなで「力強く前に進んでいく」、「前進」していこうと話をしています。

それでは、「新しい時代に力強く前に進んでいく」そのために、みなさんには二つのお願いをしたいと思います。

一つ目は、**いろんな活動や取組に「より良きもの」を求めていこう**ということです。中学校では、いろんな活動が用意されていますが、皆さんの考えや工夫を取り入れながら進めていきます。そこでぜひ、少しの工夫を加えながら、より良きもの、より高みを目指す視点での取組を期待したいと思います。そのことが、新しい時代の幕開けを実感させ、山里中学校らしさが表現できることにつながると考えています。

二つ目は、**みなさん一人一人が、お互いの「心を通わせ合っ」ってほしい**ということです。新しいものやより良きものを作り上げていくためには、何といても力を合わせる事が重要です。そのためには、まずはお互いが心一つにすること、「心を通わせ合うこと」が大切なこととなります。「心を通わせ合うこと」によって、目指すところや目的がはっきりすることになり、そのことが、力を合わせて「前に進んでいくための推進力になる」と思います。

この2つを大切にしながら、「山里中学校が、新しい時代に、力強く前進していく。」そんな学校と一緒にいきましょう。

さて、新入生の保護者の皆さま。お子様の中学校へのご入学、誠にありがとうございます。心よりお喜び申し上げます。私たち教職員一同、大切なお子様をお預かりするという大きな責任を果たすため、全力を挙げて努力する決意でございます。

これからの社会は、新型コロナウイルス感染症の分類の見直しもあり、制限や制約がなくなるという期待感もありますが、まだまだ不透明な部分も多く、不安定で不安感が強く、中学校教育を実践していくにあたっては困難な状況が数多くございます。しかし、私たち学校教育に携わるものは、子どもたちの安全・安心を確保しながら、「Afterコロナ」の時代、新しい時代に、コロナ禍で培われた様々な対策や工夫を生かしながら、前に進んでいかなければなりません。子どもたちと関わり合う大人の責任として、学校と家庭と地域の方々と一緒に、これからの新しい課題に対処する必要があると強く感じる昨今でございます。大切なお子様のため、本校教育にご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

また本日は、PTA会長 筒井様をはじめ、ご来賓の皆様方には、ご多用の中、ご臨席賜り誠にありがとうございます。この



ような先行きの見えにくい世の中において、保護者、校区の小学校、地域との連携を欠いては、学校運営は成り立たないと考えております。今後とも、本校生徒のためにお力添えをくださいますようお願い申し上げます。

さて本校は、公立中学校として地域に誕生してから、76年目を迎えます。これまでの数多くの卒業生の努力と、保護者の皆様、地域の皆様のご支援と、そして本校教職員とで、地域の学校としての伝統を築いて参りました。

私どもは、本校の良き伝統や校風を堅持しつつ、これからの日本を創る、郷土長崎を創っていく「次代を生き抜く子どもたち」の学びにふさわしい場としての学校づくりに取り組んで参りたいと存じます。本校に学ぶ誇りと自信を新1年生のみならず、すべての生徒と教職員が胸に刻み、教育活動の充実に向け努力することをお約束し、式辞といたします。

令和5年4月10日 長崎市立山里中学校長 本田 勇人

PTA 会長 筒井健治 様 お祝いの言葉 ※心温まるお言葉、ありがとうございました。

みなさんに伝えたいのは、とにかく「焦らないで」ということです。また「粘り強く」ということです。要領が悪くたってかまいません。人と比べる必要もありません。一つ一つ目の前の課題にベストを尽くしながら、足元を固めて行くことです。

思い通りにいかず、行き詰ることもあるでしょう。そんな時、支えてくれる仲間がいることを思い出しながら、「粘り強く」新入生らしく、新しい息吹、新しい舞台に挑んでもらいたいと思います。



新入生誓いの言葉（永田真優さん） ※素晴らしい誓いの言葉でした！。

今日から始まる3年間の物語。3年後には、それぞれが、自分の夢に向かって別々の道を歩んでいきます。「山里中学校の生徒でよかった」と誇りがもてるよう、何事にも全力で取り組み、充実した中学校生活と、良い思い出を築き上げていきたいです。私たち新入生は、山里中学校の生徒としての自覚を持ち、実りある中学校生活を送れるよう、努力していくことをここに誓います。



4/10(月)、1年生教室から見たグラウンドの風景。本校職員から1年生への贈り物です。

令和5年度「安心メール」の登録・設定を行います。

安心メールの登録・変更は4/12(水)を締め切りとさせていただきます。現在、多くの皆様に登録・変更をしていただいています。ご協力、ありがとうございます。登録・変更まだお済みでない方は、4/12(水)までに、どうぞよろしくお願いいたします。

4/13(木)以降は令和5年度の登録の最終作業に入ります。数日間は保護者ご自身での設定をお控えください。登録・設定が完了したら「安心メール」にてお知らせします。

今後、携帯の機種変更などの理由で「安心メール」の再設定が必要な方は、お気軽に副校長（小西）へご連絡ください。必要な資料を、お子様を通じてお渡します。

※「安心メール」は、「アプリ」「メールアドレス」のどちらでも登録できますが、「アプリの方がメールを送信した際にタイムラグが起こらない。」「アプリの方が登録・変更も簡単。（時間がかからない）」等の理由により、「アプリでの登録」を推奨しています。どうぞ、よろしくお願い致します。

